

戦略的国際科学技術協力推進事業
国際緊急共同研究・調査支援プログラム（J-RAPID）

1. 研究・調査課題名：「壁を有する建物の耐震性能に関する調査」
2. 研究・調査期間：平成 23 年 9 月～平成 25 年 3 月
3. 支援額： 総額 3,858,000 円
4. 主な参加研究者名：

日本側（研究代表者を含め 6 名までを記載）

	氏名	所属	役職
研究代表者	市之瀬敏勝	名古屋工業大学	教授
研究者	前田匡樹	東北大学	教授
研究者	高橋之	名古屋工業大学	助教
研究者			
研究者			
研究者			
参加研究者 のべ 13 名			

相手側（研究代表者を含め 6 名までを記載）

	氏名	所属	役職
研究代表者	Santiago Pujol	Purdue University	Assoc. Prof.
研究者	Mete Sozen	Purdue University	Professor
研究者			
研究者			
研究者			
研究者			
参加研究者 のべ 5 名			

5. 研究・調査の目的

東日本大震災で被害を受けた鉄筋コンクリート造建物のうち、耐震壁を有する建物について調査を行う。鉄筋コンクリート造耐震壁は耐震部材として非常に優れているが、それにもかかわらず建物が被害を受けた理由を明らかにする。

6. 研究・調査の成果

6-1 研究・調査の成果

地震被害が大きかった鉄筋コンクリート造建物は極めて少なく、限られた貴重な被災建物の被害状況を詳細に記録した。調査した建物は取り壊しとなってしまったが、それを避けるために必要な対策を提案した。

7. 主な論文発表・特許等（5 件以内）

相手側との共著論文については、その旨を備考欄にご記載ください。

論文 or 特許	・論文の場合： 著者名、タイトル、掲載誌名、巻、号、ページ、発行年 ・特許の場合： 知的財産権の種類、発明等の名称、出願国、出願日、 出願番号、出願人、発明者等	備考
論文	Hamood Alwashali, 鈴木一希, 高橋香菜子, 前田匡樹：STUDY OF LOW-RISE RC BUILDINGS WITH RELATIVELY HIGH SEISMIC CAPACITY DAMAGED BY GREAT EAST JAPAN EARTHQUAKE 2011,	

	日本コンクリート工学年次論文集, 34巻, 2号, pp. 1153-1158, 2012年	
--	--	--